

共生・創造・未来 はじめよう、ここから！

大会3日

参加者が一体に

大会2日目の夜は、会場を移し郡山市内のホテルにて懇親会が行われました。会場では、福島県の「キビたん」や郡山市の「がくとくん」「おんぶちゃん」といったキャラクターが全国の皆様をお迎えしました。福島県内の食材を使った料理や地酒に囲まれた会場は、来場者のお腹を満足させたようです。ステージではフラダンスや来年開催地となる山口県精神保健福祉士協会の方々によるPR、そして抽選会が催され、多くの参加者を沸かせました。都道府県別のテーブル席だった会場も、後半にはごちやまぜとなり全国約440名の方々が一体となって盛り上がっていました。

分科会1

「1-① 変わりつつある精神医療と精神保健福祉士の役割」では、アウトリーチや救急といったチーム医療の中でどのように精神保健福祉士が役割を担っているかについて発表がありました。

「1-② 子ども・若者支援」では、身寄りになかったり暴力行為があるなど大変な事情を抱える若者ほど、施設の受入れが少なく社会的入院をよぎなくされている状況について話がありました。

若者ゆえに起こる特有の状況(依存や分離不安等)があるが、思春期・青年期の心性を学ぶ精神保健福祉士が少ない状況があるという話に、多くの方が聞き入っていました。

「1-③ 家族・支援者・住民等のメンタルヘルス」については、家族相談会による家族の変化や学生・支援者を取り巻く環境、住民への支援による実践等が報告され、発表後には活発な質疑応答が行われていました。

「1-④ リハビリテーションと当事者主体のアプローチ」では、文献でソーシャルインクルージョンをはじめとした言葉の使われ方を吟味すべきという批判があることに着目し、リカバリー概念を再考する時間がありました。演者の体験談を交えた発表もあり、参加者は積極的に質問を投げかけていました。

「発行元」

福島県精神保健福祉士会
広報部会

項目

懇親会
分科会1
ポスターセッション
編集後記
お知らせ

「1-⑤ 実習を通じた学び合い」では、実習生との関わりを通してどのように実践に活かすかを発表されていました。

「1-⑥ スーパービジョン・権利擁護・普及啓発」では、PSW通信における神奈川県権利擁護委員会が、権利擁護の硬いイメージを和らげ、権利擁護の視点を気づかせるための様々な工夫が紹介されました。多くの方が会場を埋め、時に笑いがある内容でした。



ポスターセッション

分科会2と同時並行で行われたポスターセッション。大盛況のうちに進みました。



～ お知らせ～

編集後記

広報は瓦版作成の他に、福島県士会ブースの運営やSNSによる情報発信を行っていました。想像以上に忙しい瓦版作成でしたが、様々な場所取材や撮影等ができ、有意義な編集活動を行うことができました。

皆さん、取材や撮影の御協力ありがとうございました。



【記念講演・一般公開講座と「分科会2」につきましましては、時間の関係上省略とさせていただきます。誠に申し訳ありません。なお、SNSでは引き続き全国大会の様子を配信致しますので、そちらを御覧いただけたら幸いです。

【SNSについて】

3日間の全国大会お疲れ様でした。大会前は広報活動期間中は大会の開催状況を公式Twitter、Facebook及びYouTubeで発信していました。御覧いただけましたでしょうか？

福島県精神保健福祉士会の公式Twitter及びYouTubeアカウントは、平成27年7月31日まで開設し、大会の様子や感想等をお届けします。大会終了後も、ぜひ公式SNSを御覧ください。